

令和元年度 第1回徳島県企業局「戦略的経営推進委員会」議事概要

1 日 時 令和元年8月1日(木) 15時00分～16時00分

2 場 所 県庁6階 企業局会議室

3 出席者 <委員>

濱尾 重忠(座長)(敬称略, 以下同)

粟飯原 一平

坂田 千代子

真鍋 恵美子

<企業局>

木下企業局長, 仁木副局長, 片岡次長,

大塚総合管理推進センター所長

粟田経営企画戦略課長

坂本政策調査幹

古井事業推進課長

森野施設基盤整備室長

生田自然エネルギー事業化担当室長

4 会議次第

(1) 開会

(2) 企業局長挨拶

(3) 議事

①平成30年度決算概要について

②企業局経営計画の平成30年度進捗状況及び評価について

③企業局経営計画の改善見直しについて

④その他

【配布資料】

資料1 平成30年度決算概要について

資料2 「企業局経営計画の平成30年度進捗状況及び評価」について

資料3 企業局経営計画の改善見直しについて

参考 徳島県企業局経営計画 (平成29年3月策定)

5 議事概要

(1) 議題1 平成30年度決算概要について

配布資料に基づき, 事務局から説明を行い, 質疑応答。

- (2) 議題2 企業局経営計画の平成30年度進捗状況及び評価について
配布資料に基づき、事務局から説明を行い、質疑応答。
- (3) 議題3 企業局経営計画の改善見直しについて
配布資料に基づき、事務局から説明を行い、質疑応答。

<質疑応答>

議題1 平成30年度決算概要について

【委員】

1 ページ目、第1表の平成30年度損益が平成29年度に比べて267,435千円減となっている主な理由としては、電気事業の修繕費1億3千万円の増によるものとのことですが、この修繕費は計画的に執行しているものでしょうか。30年度も計画どおりだったのでしょうか。今後も同じ規模でやるものでしょうか。

【企業局】

電気事業における修繕につきましては、長期工事計画に基づき、いろいろな設備の更新・修繕等を行っております。修繕そのものは計画的に行っておりますが、電気事業の各施設は非常に古くなっております。今後、建設改良に伴う更新等を含めまして修繕費も施設の維持に必要となります。一昨年度は純利益が多くなりました。また、27年度からの3ヶ年は収益が多かったのですが、設備は老朽化しておりますので、修繕は必要となります。今後も平成30年度程度の修繕費は必要となります。したがって、27,28,29年度のような純利益にはなりません。計画的に対応し黒字経営を維持できるようにしたいと考えています。

【委員】

前提として利益が多く出ていると思いますので、今後も計画的に修繕していくという旨理解しました。

【委員】

3 ページ目、第3表の資本的支出について、予算額に対する支出額の比率が57.9%となっているが、その進捗状況を教えていただきたい。必要な設備に計画的に投資していくということですが、この結果はその計画通りのものでしょうか。

また、次の議案の話になるかもしれませんが、この結果が評価に結びつくような項目がないのでしょうか。本来なら5割6割程度の達成なら評価BやCとなる項目が出てくるのではないのでしょうか。安全安心の確保だとか、そういうところがあまり現れていないのはなぜなのでしょう。

【企業局】

工事の執行としては入札不調や関係各所との調整の結果、繰り越し工事となったものが

あります。その分は決算として上がっていません。また、工事の設計変更を見越して予算を多めに取っていますが、その分が不用となったものもあります。結果としては、繰り越し工事となったものにより支出額が下がっている形になっております。

【委員】

繰り越したものは次の予算に載るのですか。

【企業局】

繰越予算になりますので、前年度の予算を使って今年度に工事が完了するという形になっています。したがって、前年度の工事が今年度の決算に出てくることになります。

【委員】

予算にも決算にも前年度の分が出てくるのですか。

【企業局】

予算には載りませんが、支出額には前年度から繰り越したものも入っています。

【委員】

予算額がプラスになっており、その理由は前期からの繰り越しがあるから、ということですか。

【企業局】

補足で説明しますと、平成30年度は大規模な修繕工事が非常に多くありました。これらは令和元年度の予算と一緒にしまして、債務負担行為を伴う工事発注をしています。その関係で、結果的に30年度には支払えず、次年度に繰り越したものがあります。

【委員】

支出が遅れたということですか。

【企業局】

工事の完成が令和元年度の予定となっていたものは、支払いができていないので、繰り越しとなりました。

【企業局】

すみません、1点修正させて頂きたいのですが、予算には繰り越した分、繰り越されてきた分がどちらも含まれています。

議題2 企業局経営計画の平成30年度進捗状況及び評価について

【委員】

ほとんどがA評価となっていますが、C評価となっている7番「地域が進める森づくりを支援」が不十分だったということですが、それについて今後の対策をお聞かせください。

【企業局】

こちらについてですが、平成30年度は予算を3千万円から5千万円にアップし、89haという結果にはつながりましたが、目標の100haには届いていませんので、那賀町を始めとした関係部局と連携し引き続き取り組んで参ります。また、公有林化面積を増やすだけではなく、水源涵養のため適切な維持管理が行えるよう、連担して適切に取得していきたいと考えております。その結果、例えば林道や索道が有効に活用できれば維持管理も適正に行えるということで、こちらも関係町の意見を聞きながら、使い勝手の良い予算にできるよう引き続き取り組んで参ります。

【委員】

先ほどの質問についてですが、22番の評価と決算の数字との関連性を教えていただきたい。

【企業局】

22番の「長期工事計画に基づく計画的な設備更新」につきましては、長期工事計画としまして、向こう10年間の工事計画を2年に1回見直しています。その計画に基づいて工事を行っておりますが、決算的に率が下がっているのは、繰り越しが出てきたことによるものです。計画通り確実に実施できることを目標として努めております。

【委員】

目標としている進捗率は達成できているのでしょうか。

【企業局】

繰り越しもあるが、最終的に目標は達成できています。繰り越した分は次年度に完成となりますが、予定していた工事は終わっています。

【委員】

もともと計画していた工事は終わっているということによろしいですか。その計画プラスアルファの部分が繰り越しとなったということですか。

【企業局】

プラスアルファでなく、工事の中の部分が繰り越しとなっています。部分的に令和元年

度に送ったものがありますが、工事自体は進んでいます。

【企業局】

例として、19番をご覧ください。これは30年度中に30年度予算で完了する計画となっていたが、繰り越しとなったためB評価としました。ただ全体としては、工事執行はしており、令和元年度に送りましたが、全体の流れとしては進んでいるので、それについてはA評価としました。

【座長】

総括的に、今回の内容を見ると、A評価が49項目、B評価が11項目、C評価が1項目ということで、今回の評価がなされたということによろしいですか。

【各委員】

了承

議題3 企業局経営計画の改善見直しについて

【座長】

今後のスケジュールはこれでよろしいですか。

【各委員】

了承

議題4 その他

※質疑無し